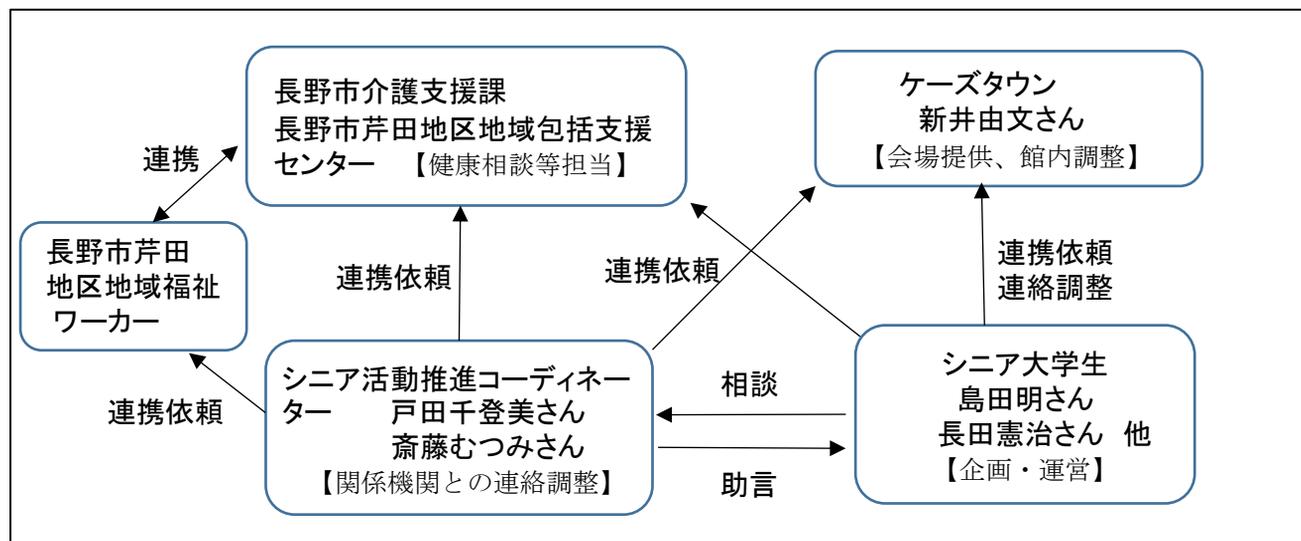


## テーマ④: まちの縁側づくりの取組

取組概要	シニア大学学生が中心となり、ケーズタウン若里に買い物に訪れた高齢者が、気軽に立ち寄り、お茶を飲みながら話をしたり、健康相談を受けられる「ふれあいサロン」づくりを行った。	
発表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケーズタウン若里 館長</li> <li>・ シニア大学学生</li> <li>〃</li> <li>・ シニア活動推進コーディネーター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新井由文さん</li> <li>島田 明さん(グループリーダー)</li> <li>長田憲治さん</li> <li>戸田千登美さん</li> </ul>



### 1 取組の背景

- 独り暮らし高齢者が多くなり、その中には孤立した高齢者も多数いる。
- 地域のサロン参加者が広がらない。男性参加者が少ない。
- 平日の昼間、高齢者が買い物に出かけてきている。



- ・ 引きこもりがちで、地域との交流の少ない高齢者が、気軽に立ち寄れる居場所を作れないか。
- ・ 地域とつながるきっかけの居場所になれないか。

### 2 取組を進める上での課題・対応

- 居場所の担い手の確保 ⇒ シニア大学生が自ら企画・運営
- 設置場所の確保 ⇒ 高齢者が来店する店舗 ⇒ ケーズタウンが協力
- ただ茶を飲むだけでなく、高齢者に提供できることはないか  
⇒ 健康相談の実施 ⇒ 長野市保健所が協力

### 3 取組の経過

- H27年 6月頃 シニア大学授業で社会参加導入(H27年度生)  
シニア大授業フィールドワーク「地域の居場所」テーマのグループ  
立ち上がる
- H27年 9月 企画が行き詰まり シニア大生から、コーディネーターに相談
- H27年10月 ケーズタウン館長にコーディネーターが相談
- H27年10月 シニア大学のフィールドワークで企画・準備
- H27年10月 市介護保険課にコーディネーターが相談
- H27年11月26日(木) サロン開催  
(原信の「いきいきシルバースデー」に合わせ開催)
- H28年 3月 3日(木) サロン開催
- H28年 9月 シニア大授業フィールドワーク「まちの居場所」グループ(H28年度)
- H28年10月 シニア大学のフィールドワークで企画・準備(OBの活動引き継ぐ)
- H28年11月10日(木) サロンを開催
- H29年 2月 9日(木) サロン開催(予定)

### 4 成果

- 来場した高齢者には、大変好評だった。
  - ・来場者 第1回(H27.11) 約30名
  - 第2回(H28.3) 約70名
  - 第3回(H28.11) 約40名
- 孤独な高齢者が話す機会になっている。
- 健康相談をきっかけに、高齢者が包括支援センターに相談に行くケースが出てきた。
- シニア大生は、自発的なアイデアで企画運営を行い、高齢者の課題を改善する活動に発展している。運営に関わったシニア大生 18人
- 多様な居場所のあり方が提案できてきた。



### 5 今後の課題・方向性

- 多くの人に知ってもらい、立ち寄ってもらうためには  
まちの縁側の定期的な開催が必要。  
そのためのメンバーをどう確保するか。
- 企画内容をどう充実するか。
- 他の地域へ普及するにはどうしたらよいか。

